

こどもまんなか



体調不良児専用の保育室の様子

上野こども園で、市内で初となる体調不良児対応型の病児保育事業が始まりました。
この事業は、保育中の園児が体調不良になった場合に、お迎えまでの間、看護師が保育を行う事業で、こども園では、これまで以上に安全安心な体制で保育が行われます。

6月1日スタート

上野こども園 病児保育事業を開始

乳幼児が集団生活をすることも園では、登園時元気であっても保育中発熱や嘔吐などの症状が出てお迎えをお願いすることがあります。これまでは、お迎えに来られるまでの間、お子さんを保育者が医務室などで見ていましたが、保育者は医療の専門家ではないため、保育者やお子さんは勿論、保護者の方も不安なお気持ちでお迎えに来られていたと思います。
体調不良児対応型の病児保育事業を実施することで体調を崩されたお子さんが安心して過ごせ、専門職の看護師が専用の部屋で対応することで、子どもや保護者の不安が軽減されます。同時に保育者は他のお子さんの保育に集中することができ、園児の事故防止にもつながります。
また、看護師は、園児の健康管理や園内の衛生管理も担い、専門性を活かして子育て中や妊娠中のお母さんへの相談にも対応し、安心して子育てできる環境につなげていきたいと考えています。



園長 岸本 陽子 さん



5/31 | 苗木のホームステイ

荒土小学校で炭焼きに使う木の苗木を校内で管理する「苗木のホームステイ」が始まりました。炭焼きの原木となるコナラやミズナラなどの苗木を児童が管理します。今後苗木を植樹するとともに、炭焼きの体験も行います。



6/2 | かつやま恐竜スクール公開講座

今年のかつやま恐竜スクール開講に先立ち、県立大学恐竜学研究所の柴田教授を招いて公開講座が開かれました。柴田教授は恐竜に関する基礎的な知識をわかりやすく解説し、参加者は熱心にメモを取りながら聞いていました。



6/2 | 水防訓練を実施

大雨や集中豪雨などによる水災害に備えるため、消防団員や消防職員、市職員約150人が参加し、水防訓練を行いました。訓練では「改良積み土のう工法」などの水防工法に取り組むなど、災害への体制強化を図りました。



6/3 | 野向町長命会社会奉仕作業

野向町長命会の皆さんが野向小学校の児童と一緒に草取りなどの社会奉仕作業を行いました。社会奉仕のお礼にと、児童が歌を披露し、長命会の皆さんは笑顔で聞き入っていました。



Smile Pick Up! 市民の笑顔お届けします

「恋活」で人や地域を繋げるきっかけ作り



Amour代表 石川 舞さん (36) =北郷町東野=

6月22日(出)に、市内で男女の出会いの場「恋活Party」を開催し、企画・実施する石川さん。
石川さんは、4年前第3子の出産を機に勝山市に移住されました(ご主人は勝山市出身)。そして、出産後に出生数の少なさに衝撃を受け、人口が減っている中、自分に何かできることはないかと思いを巡らせたそうです。
これまでの仕事で人と人をつなぐ経験もあったことから、男女が出会いの場をつくる「恋活」の開催を決めたそうです。
今回で5回目(勝山市では初)の開催となる「恋活Party」参加者からの話を参考にしながら、試

行錯誤を続け、より良い環境づくりに励まれています。
「恋活は、出会いの場だけではなく、参加した方が、勝山のことを知り、勝山で暮らしてみたいと思ってもらおう。そんな機会にもしたいです」と地元勝山市での開催に意欲を燃やす石川さん。
他にも、勝山市の子育て情報をもっと多くの方に知ってもらいたいと、気軽に子育て相談ができる民間の相談窓口としての役割も担いたいと考えています。
「4人の子どもを育てている視点、移住してきた視点を生かしながら、人や地域を繋ぐきっかけ作りに取り組んでいます」と今後の意気込みを笑顔で話されていました。



恋活Partyの様子

6月22日開催
恋活Party
申込はこちら

